



子ども大学かわごえ
CUK だより

第 31 号 NO.120710

2012 年 7 月 10 日

「リオの伝説のスピーチ」 セヴァン・スズキ

平成 24 年度（第 5 期）入学式

子ども大学かわごえは、第 5 期学生を新たに迎え、6 月 23 日（土）川越西文化会館で入学式を開催しました。入学式は、学生 162 名、保護者 123 名、その他来賓、スタッフに群馬県沼田市から 12 名の子どもたちの参加もあり、総勢約 330 名で例年にも増して盛大にとりおこなわれました。

遠藤克弥子ども大学かわごえ学長挨拶に引き続き、来賓祝辞が川越市役所文化スポーツ部今井孝雄部長、鶴ヶ島市教育委員会新井周作教育長、尚美学園大学松田義幸理事長・学長によって行われ、最後に子ども大学かわごえ 6 年生中原大知君が新入生歓迎のあいさつを行いました。

第 5 期第 1 回授業

テーマ：ピーターパンの祖先はだれか？～ギリシャ神話の楽しみ方～

講師：尚美学園大学 松田義幸 理事長・学長

日時：2012 年 6 月 23 日（土）10：30～12：00

場所：川越市西文化会館 メルト 大ホール

今日の講師、松田先生は子どもの時から 60 年以上もピーターパンと付き合っただけで、子どもは大きな可能性と力を持っていることを知らされたそうです！

その証拠として地球環境サミットで世界を変えた 12 歳のカナダ人少女のスピーチを紹介されました。1992 年 6 月 11 日にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた国連の地球環境サミットに 12 歳のカナダ人少女セヴァン・スズキさんが世界各国の大人を前に堂々と 6 分間のスピーチをしました。その言葉はサミット参加者の強い感動を呼び、「リオの伝説のスピーチ」と呼ばれるようになりました。

その内容ですが、

- ・私は未来のある子どもたちのため、世界中の飢えで苦しむ子どもたちのため、死に絶えようとしている無数の動物たちのために話をするためここに来た。
- ・今、まさにものすごい勢いで地球環境の破壊が進んでいるのに、人間はのんきな顔をしている。
- ・大人たちは良い解決法なんて持っていない事を認識して欲しい。
- ・オゾンホールの修復、生物の死んでしまった川の再生、絶滅した動物の蘇生、砂漠の緑化・・・何も対応策がない。
- ・どうやって元に戻すのか解らないものを壊す事は止めて欲しい。
- ・地球は 50 億人の人間、3 千万種の生物からなる大家族。
- ・世界のほんの一部の富裕国はその富を貧困国に分かちあわず、独占している。
- ・戦争で使うお金を貧困と環境問題の解決に使えたら、地球は素晴らしい星になる。

- ・「争いをしない、話し合いで解決、他人の尊重、後片付け、生物を傷つけない」
- ・子どもに「するな」と言う事を、大人が自らやっている。どうして大人は「子どもを愛してる」と言うことができるのか？

★みなさん、以上のスピーチをどう思いますか？子どもが持っているパワーが如何に凄いかを表していますね！！

この少女スズキが訴えた環境問題については、元アメリカ合衆国副大統領アル・ゴアが自ら出演した映画『不都合な真実』（2006年）で、地球はもはや修復できないほどに壊れている、地球を壊れかけた大きなシャボン玉であると比喻し、地球の環境問題を映画を通じて訴えました。

また、英ビアトリクス・ポター（絵本作家）が書いた児童書に登場する主要キャラクターのピーターラビットは擬人化（人間の姿に）されて、青色のコートを着用した姿で描かれ、英国 湖水地方の乱開発防止に使用されました。



ピーターラビット

それでは今日の講義の主人公であるピーターパンの話に入りましょう。みなさんピーターパンの本を読んだり、ディズニーランドでショーを見たことがありますか？みんなけっこう見てますね。ピーターパンの話は好きですか？あまり好きでない人が少なくないですね。

ピーターパンの話は、イギリスのジェームス・マシュー・バリーという人が作った物語で、あらすじは次の通りです。

ロンドンに住むウェンディはある夜、海賊に襲われてピーターパンに助けられた夢を見た。ウェンディが夢から目覚めた時に不思議な事に部屋の木馬のおもちゃが揺れており、また弟のジョンやマイケルもウェンディと全く同じ夢を見ていた。するとどこからともなく夢に見たピーターパンが現れて、木馬に乗って遊び始めた。愛犬のナナが大きな声で吠えたので、ピーターパンは慌てて逃げたが、部屋に影を忘れてしまった。



ピーターパン

兄弟たちはピーターパンが必ず影を取り戻しにやって来ると考え待っていたところ、窓の隙間からティンカーベルとピーターパンが入ってきた。ピーターパンは影が自分にくっつかなくて困っていたので、ウェンディが縫ってあげた。するとピーターパンはお礼にウェンディたちに魔法の粉をかけて、皆で空を飛んでネーランドへ遊びに行った。

ネーランドでは海賊とフック船長が暮らしており、ウェンディたちは海賊たちに捕らえられてしまった。そこでピーターパンとフック船長が対決し、ピーターパンが勝って、フック船長は死に、残った海賊たちとは仲直りした。

やがてウェンディ達は自分の家に帰る事になり、ピーターパンは「また必ず会いに行くから」と言って別れた。

ピーターパンが20年後にウェンディをたずねた時、ピーターパンは子どものままだったがウェンディはお母さんになっていた。



フック船長

以上がピーターパンの物語ですが、ピーターパンを裸にしたらどうなるのだろう？



耳が人間の子どもでない。
→実はヤギの耳なのです。



靴の甲（靴の分厚さ）が高い
→実はヤギの足なのです。

ピーターパンの祖先はだれ？

ギリシャ神話に登場するいたずら好きの牧神（家畜や牧人を司る神様）「Pan（パン）」が祖先。パンはあごひげのある顔で、ヤギの脚と角を持った半獣神。

ミケランジェロ（ルネサンス期の彫刻家・画家）の代表作「バッカス（別名 ディオニュソス）」はぶどう酒を造った祭りの神様の彫刻ですが、ここには子どもの下半身ヤギの半獣神も一緒に彫られています。

ところでギリシャ神話の神々の中で
ゼウス……………天空神
アポロ……………太陽と芸術の神
アフロディーテ…美の女神、春の女神

などがよく知られており、ギリシャ神話は時代を超えて多くの影響を与えています。

例えばルネッサンス時代のラファエロが描いたギリシャ神話の絵で、三美神カリタスを表しています。カリタスとは「若さ」「喜び」「輝き」の三美神のことです。若く美しい娘の姿で描かれています。



現代では、ウォルト・ディズニー(米 映画監督)がギリシャ神話を自らの作品のピーターパンの性格に「かくし味」にして使っています。そして、真実は大切だが、夢も大切として、現実派の大人達が戦争などで壊したファンタジーの夢を生かそうとしています。

さて、ギリシャ神話を学んだついでに古代ギリシャの歴史に少し触れてみましょう。

古代ギリシャの歴史家ヘロドトス(BC490年頃)は著書『歴史』で、ペルシャ戦争のことを書いています。マラトンの海戦で10万人のペルシャ軍を相手に1万人のアテネ軍が戦って奇跡的に勝利しましたが、アテネ軍の救援に行った牧神パンがペルシャ軍兵士の1人1人の心の中に入って恐怖心をあおって戦意を喪失させたためだと言われています。(古代ギリシャでは羊の家畜が突然、集団で騒いだりするのを牧神パンのせいだと考えたとのことです)。

マラトンの海岸からアテネの街まで42.195キロメートルありますが、マラトン(英語読みではマラソン)の戦いでギリシャ軍が勝ったことを知らせるために、兵士が走った距離がこの42.195キロメートルでした。現在のマラソンの距離はこれがきっかけで始まっています。

古代ギリシャの後を継いだのはローマで、地中海地方を中心に大帝国を築きました。英雄カエサル(英語名シーザー)の名前は諸君もよく知っているでしょう。2千年前に活躍した古代ローマ帝国の歴史は学習すると非常に興味深いものがありますが、同じ時代にエジプトの女王であったクレオパトラに少し触れましょう。

もしもクレオパトラの鼻がもう少し低かったら、歴史が変わっていたらと言われ、クレオパトラは美女の代名詞になっています。彼女はローマ帝国の英雄カエサル(シーザー)を魅了して、彼の権力を利用して祖国エジプトを守りました。そしてカエサルが死ぬと、その部下のアントニウスと仲良くなり同盟を組みました。しかしアントニウスはカエサルの息子のオクタ비아ヌスとの権力争いに敗れて、アレクサンドリア(エジプトの都市)で自殺、クレオパトラも毒蛇に胸をかませず自殺しました。



右の肖像はクレオパトラのものと言われています。

時代を大きく下ってピーターパンの物語が誕生した19世紀のイギリス・ビクトリア時代の児童文学に目を向けてみましょう。この時代に

- ・チャールズ・ディケンズ 『クリスマス・キャロル』
- ・ルイスキャロル 『不思議な国のアリス』『鏡の国のアリス』
- ・J. M. バリー 『ピーターパンとウェンディ』
- ・ベアトリクス・ポター 『ピーター・ラビット』
- ・A. A. ミルン 『熊のぷーさん』

などの優れた児童文学が次々と誕生しました。

ここでピーターパンの作者 JM バリーについて考えてみましょう。

バリーの次兄ディヴィットが賢くて元気だったので、母親は次兄のディヴィットを強く愛していました。ところが兄が14歳の誕生日の前日に、スケートの転倒死で亡くなると、母親はショックのあまり立ち直れなくなってしまったのです。母親にとっては兄の姿が子どものままでいつまでも心の中に存在していたのです。

バリーが作家として有名になって間もなく、母親が亡くなったのです。そこでそのショックの気持ちを整理するためによくケンジントン公園を大きな犬を連れて散歩をしました。そしてそこでバリーは美しく優しい母親のシルビアの子どもたちとケンジントン公園で一緒に遊んでピーターパンの話の構想をねりました。ピーターパンの話が生まれましたが、バリーの母親の影響でピーターパンはいつまでも大人にならない子どものまま(=死の先送り)という筋書きにしました。

JM バリーの言葉

『死ぬということはもっとも凄く大きな冒険だ!』→独自の死生観でピーターパンをそのように創作したのです。ピーターパンは生と死を対比させた文学なのです。すなわちピーターパンは生のずっと子どものまま、フック船長は死を意味し、ピーターパンの宿敵なのです。

この永遠に大人にならないピーターパン(=死の先送りという考え方)には、ディズニーも影響を受けています。

JM バリーが描いた『ネバーランド』は子どもの田園理想郷です。また、バリーの女性に対する思いは深く、女性がいかに楽しく暮らせるかがバリーのテーマでした。祖母から母→ウェンディ→ジェーン→マーガレットへと続く連鎖は、母系国家イギリスの象徴でもあります。

理想郷ネバーランドについては、米国の映画監督スチーブン・スピルバーグの『フック』やジョニー・デップ主演の『Finding Neverland/ネバーランド』で映画化し、現実と夢の世界の両方を表現しています。

わが国の監督宮崎駿先生も武蔵野の里山、トトロの森をネバーランドとしてアニメ化し、子どもたちの夢を育てています。

以上のような松田先生の楽しいお話の後、小林範子先生(尚美学園大学 講師、作曲家)が素晴らしい演奏、弾き語りをしてくださいました。

- ① となりのトトロの曲
- ② クロード・ドビッシー(仏 作曲家)「牧神の午後への前奏曲」
- ③ ストックホルムから川越へ
- ④ 虹の玻璃(にじのちきゅう)

楽しい講義と音楽の後、西文化会館の正面で松田先生と小林先生を囲んで全員で記念写真を撮りました。(完)



子ども大学かわごえ

学長 遠藤克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991 (事務局直通)

FAX 049-233-1640F

E_MAIL info@cuk.or.jp